

校舎に一步入ると「さて、ここはどこかな。」と 考えさせられるモダンな建物でした。

幌糠小学校・幌糠中学校の新校舎が完成

幌糠小学校・中学校の新校舎が完成し、児童生徒たちが新しい教室で勉強をしています。新校舎は、旧中学校校舎の横に建設。総面積2582㎡、明り窓、温水集中暖房など近代的な設備を取り入れてあります。



▶手前が幌糠中学校、奥が幌糠小学校

市では「創造力と人間性を育む文教都市づくり」を基本理念に、子どもたちの健やかな成長と教育効果の向上を図るため教育環境の整備を進めています。

その中で潮静小学校（53年～54年）、沖見小学校（55年～57年）、緑ヶ丘小学校体育館と一部校舎（57年）、留萌中学校（58年～60年）、港北小学校体育館（61年）など各種文教施設の建設を手がけてきましたが、62年度は幌糠小学校と幌糠中学校の新校舎が完成しました。

旧小学校は、昭和31年に建設された木造建物で31年ほど年数が経過し、旧中学校は、昭和23年に建設され、これも木造建物で39年ほど経過して両校とも老朽化が激しく、維持管理に多額の費用がかかると共に、児童生徒たちにとっても快適な学校環境とは言い難い現状でした。

このたび完成した校舎は、自然景観と学校環境について十分に検討し、校舎の外壁や教室内の壁の色を細心わたって注意すると共に、校舎の中心やその他ポイントとなる所に、生徒会、学芸会・学年集会・グループ研究発表会・朝会などができる多目的スペースを両校とも配置す

るなど新しいスタイルの校舎の造り方をしています。校舎に一步入ると「さて、ここはどこかな」と考えさせられるようなモダンな建物で、公民館や美術館に入ったみたいなきもちにさせられました。

小学校（鉄筋コンクリート平家建）・中学校（鉄筋コンクリート二階建）の校舎の総工費は4億8300万円円で建設され、校舎面積は小学校1071㎡、中学校1511㎡です。

屋内体育館は現在、古い中学校の体育館を使用していますが、昭和63年度に建設するように計画を進めています。

両校とも屋根の上に三角型の明り窓を設計するなど「明かり」に重点をおいているだけあって明かるい校舎に生徒の楽しい笑い声が響いていました。

最後に、幌糠中学校の外山資郎校長は「今後、多目的スペースなどを学年のわくをこえた活動の場として活用していくと共に、地域の住民に広く開放して学校と地域がより強く結びつくことのできる場として活用していきたい」と語ってくれました。今後の活動に期待しています。



上坪 良江さん
(幌糠小学校児童会会長)

新校舎は、床にも暖房が入っていて温かく、勉強や遊びなどして楽しい毎日です。私たちは、これから入学してくる1年生のためにも校舎をいためないようにしたいと思っています。



高田 治夫くん
(幌糠中学校生徒会会長)

新校舎の印象は、「温かくて明るい」の一言につきます。私たち3年生はもう少しで卒業をしますが、後輩には「いつまでも新しい校舎のままにしておいてほしい」と思っています。

救急車は、ハイヤーではありません。

昨年の3月号にも、救急車の利用方法についてお願いをし、ご理解をいただいた所ですが、まだ、ハイヤーがわりとしか思えない出動件数が全体の2割ほどあります。119番通報があり出動してみると家の前で手をふってまっている病人、『冬に、雪がふりつもって車庫から車が出ないので病院に行くのに来てくれと言ってくる人』……。

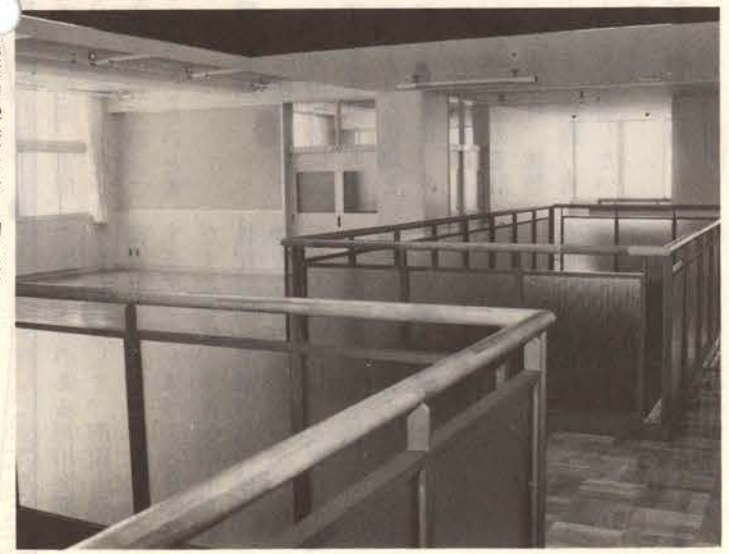
急病人がでて、救急車でない病院へ搬送する方法しかとれない急病人などは救急車を利用していただくのは結構ですが、119番通報は、もっと慎重にしてほしいと、消防本部救急隊員が呼びかけていました。

おちついて119番

119番通報する時は、①氏名・住所・目標物 ②患者の氏名(性別・年齢) ③患者の容態(外科・内科) ④そして通報した方の名前 ⑤電話番号を、落ちついてお知らせください。普段から、電話の前にお知らせしておかれると、あわてないで119番をかけることができます。救急車を呼ぶようなことがあってもこまみますが、心の準備は必要ですね。

救急車到着までの準備

119番へ通報してから、現場へ到着するまで約5～6分かかります。その間、自宅であれば ①病院の支払いのための若干のお金 ②保険証 ③もし本人が病院にかかっていたら診察券や飲んでる薬などを準備してあれば、病院で早く適切処置が受けられます。



幌糠中学校の多目的スペース